

中学部ではどのような学習をするのか中学部主事の久保先生に取材しました。

教育目標

- ・体力を付け、健康な心身を育てる
- ・自らの役割や目標を意識し、やり遂げる力を付ける
- ・社会参加に向けての意欲や態度を育てる
- ・友達や周りの人との関わりを豊かにする

仲間とともに経験を広げ好きな事を増やし、社会生活への自立を目指していきます。

中学部の特徴

小学部で集団生活という環境に慣れてきて、中学部ではその中で自分の力を発揮し主体的な活動をしていきます。思春期を迎え、体も心も少しずつ大人へと近づくなかで、心身の変化に向き合う期間でもあります。自分自身の変化に向き合いながら対応していくことで、大きな成長を感じられる3年間となると思います。



授業科目

「国語・数学」「生活」「ホームルーム」「美術」「音楽」「体育」「音体」「しごと」は子どもたちの目標に合わせたグループに分かれて学習しています。

「国語・数学」  
「生活」

日常生活で使う読み書きや計算などを学びます。国語・数学で学んだことを生活へ繋げています。社会科、理科、家庭科など様々な経験を通して身につけていきます。

「ホームルーム」

クラス単位で活動します。学校生活におけるテーマに対して仲間と協力して取り組みます。

「美術」

全員同じ時間帯で学習します。美術の目標に合わせて、国語・数学の学習グループとは異なる編成で、作品作りに取り組んでいます。

「音体」「音楽」  
「体育」

音体は学部全体で活動しています。音楽や体育は、それぞれの教科の目標に合わせて、少し大きな集団編成をし活動しています。

「しごと」

学部全生徒の縦割り集団による班編成を行い、「紙」「布・ねん土」「農園・リサイクル」の各班での作業学習を設定しています。各年度ごとに作業内容をローテーションし、3年で全てを経験するように設定し、個々の生徒の課題に応じた学習ができるように工夫しています。また、この他にも自立活動の割合を高めた活動に取り組む「しごと班」も設定しています。

「紙班」

紙すきの作業をしています。材料となる牛乳パックを集めて、はさみで一定の大きさに切ります。ふやかして中の芯だけを使います。使えるところをミキサーにかけて、はがきを作っています。はさみやミキサーの道具を使う練習にもなっています。できたはがきはスタンプで色付けして、地域の方へ配っています。

「布・ねん土班」

「布班」  
ウエス作りをしています。先生方から注文を取り、できたウエスを事務室等に配達しています。配達時に「ありがとうございます。」などのやり取りはコミュニケーションの訓練にもなっています。

「ねん土班」  
平べったい板状の粘土で型を取って箸置きなどを作っています。電気釜で素焼きをして釉薬を塗って本焼きをしています。

「農園・リサイクル班」

「農園班」  
土作りからしています。季節の野菜（じゃがいも・ピーマン・なす・たまねぎなど）を栽培、収穫した野菜は給食のカレーに使われたりしています!!

「リサイクル班」  
ペットボトルキャップを洗って仕分け、リサイクルセンターに持ち込み再資源化しています。（回収ボックスを事務室前に置いています。）



今回、取材にご協力いただいた中学部主事の久保先生よりメッセージをいただきました。

中学部という大切な青春時代を友達や先生と一緒に楽しく元気に過ごしましょう。

